

# Vine

「地域の中核、世界の人材」  
UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報  
ヴァイン

2015  
vol.27  
December



[特集]

ノーベル医学・生理学賞受賞  
おめでとうございます!

**大村 智**

山梨大学特別榮譽博士

[特集]

**医学部附属病院  
新病棟完成**

【人物発掘】 宇多 賢治郎 准教授 大学院教育研究科専攻(社会文化講座)

【ゼミ紹介】 工学部コンピュータ理工学科 安藤研究室

【クローズアップびーぶる】 堀田由佳(生命環境学部地域社会システム学科)

【サークル紹介】 ダブルダッチサークル「跳縄舞」/ 医学部アイスホッケー部

ノーベル医学・生理学賞受賞  
おめでとうございます!

**大村 智** (おおむら さとし)

山梨大学特別荣誉博士

大村先生は、寄生虫病の治療薬である「イベルメクチン」の開発が評価され、2015年のノーベル医学・生理学賞を受賞しました。この受賞はアメリカ・ドリュエ大学名誉研究フェローのウィリアム・キャンベル氏(元メルク社/アメリカ)との共同受賞で、日本人としては3人目のノーベル医学・生理学賞受賞者となりました。



## 大村先生と山梨大学

大村先生は、1935年 山梨県北巨摩郡神山村(現・韮崎市)にお生まれになり、1954年 山梨大学学芸学部(現 教育人間科学部)自然科学科に入学され、1958年に卒業されました。卒業論文は、「油脂成分の微量分析」で、ペーパークロマトグラフィーという手法を用い、脂肪酸の分離と定量化について論述しています。

山梨大学卒業後、定時制高校で教鞭を取る傍ら、大学院修士課程で理学を勉強され、1963年から2年間、山梨大学工学部発酵生産学科助手をお勤めになりました。

## 「エバーメクチン」の発見と「イベルメクチン」の開発

1974年、大村先生の研究グループは、静岡県伊東市川奈のゴルフ場の土から放線菌MA-4680株を分離しました。先生はメルク社との共同研究において、線虫を感染させたマウスを使う画期的な手法により、MA-4680株が線虫を駆除する物質を生産することを発見し、放線菌の新種「ストレプトミセス・エバーミチリス」として提案するとともに、抗寄生虫物質を「エバーメクチン」と命名して発表しました。

その後、共同研究者であるメルク社のウィリアム・キャンベル氏らとともに、より安全で効果的な寄生虫病の治療薬として開発した「イベルメクチン」が評価され、今回のノーベル医学・生理学賞受賞に至りました。「イベルメクチン」は様々な感染症に対して大きな効果を発揮し、特に年間3億人が感染するとされるオンコセルカ症(河川盲目症)の治療に用いられ、多くの人々を失明から救っています。また、「イベルメクチン」は、日本でも発症する「疥癬(かいせん)」という皮膚感染症に対して、唯一の内服薬として効果があります。

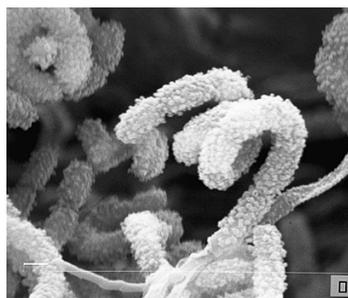
イベルメクチン開発のほか、微生物の生産する有用な天然有機化合物の探索研究を続け、450種を超える新規化合物を発見し、そのうち25種が医薬品などとして世界中で使われ、人類の健康と福祉の向上に大きく寄与しています。

## 法人経営、人材育成、文化芸術…多方面での活躍

大村先生は、研究者としての顔以外にも、北里研究所の経営改革に手腕を発揮されました。さらに、研究者の後進育成のために「山梨科学アカデミー」を設立、ふるさとの文化芸術の興隆のために「韮崎大村美術館」を開設するなど、多方面でご活躍されています。



保管されていた卒業論文



ストレプトミセス属放線菌の  
走査型電子顕微鏡写真  
(生命環境学部応用微生物学研究室撮影)



山梨大学助手時代の  
大村先生  
(前列左端が大村先生)



山梨大学名誉顧問として招待講演会を開催  
(2013年 甲府キャンパスにて)

## 山梨大学における放線菌研究の現在

大村先生の放線菌研究は、生命環境学部生命工学科において現在に引き継がれています。

放線菌は、抗生物質や酵素たんぱく質などの菌体外分泌能力が高いことから、医薬品や化粧品、食品などのあらゆる分野で重要な役割を果たしています。特に、抗生物質に代表される医薬品の分野では、数千にも上る抗生物質が種々の放線菌から見つけられました。

# 特別榮譽博士称号授与式

Dr. Satoshi OMURA

2015年10月26日(月)、山梨大学甲府キャンパスにおいて、大村先生に「特別榮譽博士」の称号を授与しました。

授与式では、島田眞路学長から「大村先生のノーベル医学・生理学賞受賞の決定は、山梨大学の学生・教職員一同にとって大変誇りになっております。」との式辞がありました。

続いて、島田学長から大村先生に称号記の授与と記念品4品の贈呈、在学生代表からお祝いの言葉があり、最後に、大村先生から学生へメッセージが贈られました。

授与式のメイン会場には、立ち見が出るほど多くの学生等が集まり、メイン会場に入りきらなかった学生等は、サブ会場での映像配信を通して授与式を視聴しました。

授与式後、大村先生は附属図書館で開催している「大村 智 先生ノーベル医学・生理学賞受賞記念特別展」をご覧になり、ご自身の卒業論文や在籍当時の写真などの展示品を懐かしそうにご覧になっていました。



特別榮譽博士称号授与式の様子(右は島田眞路学長)

## 特別榮譽博士称号授与式において、大村先生が学生へ贈られたメッセージを抜粋して掲載します。

今日、このような機会に、皆様方にお話をさせていただきますことを、大変光栄に思います。

まずは、この度ノーベル賞の受賞が決定し、島田学長先生をはじめ、大学関係者各位、それから学生からも祝辞をいただきました。本当に感激いたしております。また、先程は「山梨大学特別榮譽博士」という称号もいただきました。本当に光栄に存じております。さらに、数々の記念品をいただき、一番嬉しいこととして、後輩である学生二人からお話もいただきました。本当にありがとうございます。(中略)今日は、学生さんに贈りたい言葉を用意してきました。いくつか挙げてみたいと思いますね。

### ●● 縁を大事にすること

まず一つはですね、縁、出会い、これを大事にするということですね。「一期一会」という言葉があります。良いご縁があっても気付かない人、気付いてもそれを何も役立たせない人、それから袖振り合う小さな縁も大事にしていくという人、3種類の人に分かれるんですけど、この3番目の姿勢が大事だと思いますね。みんなご縁ですから、どんなご縁も大事にして生活してほしいと思います。

### ●● 至誠惻怛(しせいそくだつ)

それから、私がいつも心掛けていること、「至誠惻怛」という言葉なんですけれども。この言葉は、辞書を引いてもあまり出てこないかもしれません。江戸末期、備中に山田方谷(やまだほうこく)という藩の改革に素晴らしい成績を上げた儒者がいたんですね。そこに、全国から若い人たちが学びに行き、色々と教えを乞うた訳です。その中の一人に、新潟 長岡藩の河井継之助という家老がいました。この家老が勉強して帰る時に、この方谷先生からいただいた言葉が「至誠惻怛」。それはどういうことかという、まごころを持って、慈愛の心を持ってやりなさい。そうすると必ず事はうまくいきますよ。家老ですから人々を導いていかなきゃならない訳です。その心を忘れるな、こういうことを言われたということでもあります。

### ●● 「金がないから何もできないという人間は、金があっても何もできない人間だ」

3番目、これは遠い国の話だけじゃなくて、山梨にゆかりのある小林一三。阪急電鉄を興し、宝塚歌劇団を興し、それから商工大臣までやった、韮崎の大先輩ですね。この小林一三の言葉の中に、色々言っていますが、うまいこと言っているものがあります。これは、特に若い人はよくさいといた方がいいと思いますけれどもね。「金がないから何もできないという人間は、金があっても何もできない人間だ」と、こういうことを言っています。金がなくても志すことがあれば、それをやる。それに向かって行動をおこすってことが大事だ、ということではないかと思います。

### ●● 幸運は高い志を好む

それから最後に、これは自分の言葉で、若い人たちに言っている言葉です。「幸運は高い志を好む」。これを皆様に贈りまして、これからは後輩たちが勉強するのをお手伝いしたり、山梨県のためにできることがあればゆったりしながら、今後過ごしていきたいというふうに思っております。

長いこと、ご清聴いただきましてありがとうございました。



直筆のメッセージ「至誠惻怛」を掲げる大村先生

## 医学部附属病院

# 「新病棟」が完成しました。

山梨大学医学部附属病院は、最新の医療に対応する施設整備や県内唯一の特定機能病院として急性期医療の充実・先進医療への取り組みを加速させるため、平成24年度から再整備事業を進めてきました。

平成25年3月より建設工事に着手した新病棟も無事竣工を迎え、平成28年1月より本格稼働を開始します。そこで、ひと足先に、新病棟の特徴とともに、新しい医学部附属病院を紹介します。

### 病院長からのメッセージ

平成25年3月に始まった新病棟（南・北病棟）の建築は平成27年6月に無事竣工しました。12月6日（日）には開院記念式典が執り行われ、12月26日（土）には患者さんの移転を行い、新病棟での診療を開始します。

新病棟の病室と廊下は大変広く、患者さんが快適に療養できるよう配慮しました。また、全国で唯一の可動式3テスラMRI手術室、またハイブリッド手術室、医療用ロボットを使った手術室の整備を行うなど最先端の医療を目指します。さらに、屋上ヘリポートとそれに直結する救急部で県内の救急医療を担います。私たち山梨大学の附属病院に誇りを持っていただければと思います。



病院長 藤井 秀樹

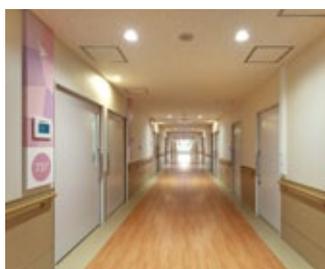
病院再整備事業の基本理念  
～大学病院を中核とした山梨県の医療連携の推進～

### 大学病院の役割と様々な機能の強化

「一人ひとりが満足できる病院」を基本方針とし、患者さん一人ひとりの安全、および大学病院という特性を生かした最新の基礎研究あるいは臨床研究の成果に基づいた確証のある高度で質の高い診療の提供が最も重要と考え、実践しています。その成果は様々な分野で高く評価されており、今回の新病棟はさらなるニーズに応えられる最新の設備を導入しています。

### 最新の手術室・万全の術後管理

手術室は従来よりも拡張することで、より安全性の高い手術環境を実現しました。様々な手術に対応するため、手術室を増設し、国内初の可動式3テスラMRI手術室や心臓血管・脳血管手術を行うハイブリッド手術室、内視鏡手術用の医療ロボット（ダヴィンチ）を使った手術室など、最先端かつ高度な医療を提供できる環境を整備しました。



新病棟では、個室の整備に力を入れており、差額個室・重症個室・術後管理個室（リカバリー対応）と機能別に個室を整備することで、患者さんの要望に応じることができるなど、療養環境の改善を図っています。

今後、手術室の機能強化により、手術件数の増加が見込まれることから、同じフロアに関係性の高い集中治療部を拡張整備し、また病棟エリアではスタッフステーション近くに術後管理個室を設けるなど、後方支援機能も充実させました。

## 救急・災害時医療への対応を強化

山梨大学は、山梨県全域を対象とした救急医療・高度救急救命医療の更なる展開が期待されているとともに、東日本大震災以降、災害時の医療に力を入れています。新病棟屋上にはヘリポートを設置し、大型エレベーターが救急部や手術部、集中治療部などと直結しているため、救急患者を迅速に搬送することが可能となります。また、新病棟1階のピロティーエリアには、トリアージスペースとして活用できる設備を設けるなど、災害時医療への対応を一段と強化しています。



屋上ヘリポート



トリアージ訓練(平成27年5月実施)



被災地支援(宮城県南三陸町/平成23年4月撮影)

## 大学病院の使命、高度医療人養成のために教育環境整備

大学病院は、診療を通じて教育・研究を行う中で、患者さんの人権を尊重する医療人を養成する使命を担っています。そのためには、教育環境の整備、充実が重要です。ベッドサイドスペースの十分な確保、回診(教育研修)等に対応できる病室設計、スタッフステーションの設備共通化など、未来の医療を担う人材養成のため教育環境を整えます。



### [新病棟フロア案内]

H 屋上ヘリポート	
北病棟	南病棟
消化器外科	消化器内科
脳神経外科 神経内科 救急	整形外科
泌尿器科 循環器内科 呼吸器内科 救急	心臓血管外科 呼吸器外科 循環器内科 呼吸器内科
産科 (院内助産)	NICU GCU 眼科
病理部	材料部
ICU	手術部
救急部	栄養管理部
免震階	

## 未来を見据えて、進化を続ける山梨大学医学部附属病院



新病棟稼働後は、既存病棟・外来棟・中央診療棟の改修等を実施し、平成34年までに再整備事業を完成させる予定です。山梨県が抱える医師不足、周産期医療への対応、高齢化など山積する課題を解決するとともに、日々刻々と進歩する医療に対し、「地域医療の中核を担う」という使命を果たすため—山梨大学医学部附属病院は、常に不断の努力を積み重ね、これからも未来を見据え、進化を続けていきます。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 新病棟開院記念式典挙行



平成27年12月6日(日)、医学部キャンパス 臨床講義棟大講義室において、医学部附属病院 新病棟開院記念式典を挙行了いたしました。

記念式典では、はじめに藤井秀樹病院長の式辞、島田眞路学長の挨拶があり、続いて佐野 太文部科学省大臣官房審議官、後藤 齋山梨県知事、中澤良英山梨県医師会理事からそれぞれご祝辞をいただきました。また、赤池誠章参議院議員、長崎幸太郎衆議院議員ほか、来賓の方々からもお祝いの言葉がありました。

式の最後には、場所を新病棟時間外入口に移し、文部科学省、県内企業、医療機関等、約170人の列席者が見守る中、盛大にテープカットが行われました。また、式典に引き続き内覧会が実施され、最新鋭の設備が披露されました。



人物  
発掘

## 宇多 賢治郎 准教授

大学院教育研究科専攻(社会文化講座)

UDA  
Kenjiro



「専門知識だけでなく、教養知識とのバランスが重要」であると  
熱く語る宇多賢治郎准教授。

長年追求してきた経済分野の研究やその活動の中で生まれ培われた  
ICT (Information and Communication Technology) の技術など、  
自らのさまざまな経験と実績を礎に、経済教育の研究にも意欲的に取り組んでいます。

### 「経済学」と「経済を教えること」の 違いを研究中

経済学者にはいろいろな方がおりますが、私自身は、1990年以降の日本経済の構造変化をマクロ的視点で分析することを長年の研究テーマとして、『通商白書』の編纂にも携わりました。その結果、経済の意味の一つである、「人のつながり」という社会科教育で重要な要素を意識するとても貴重な経験を得ました。

現在は、教育人間科学部の生活社会教育コースに所属して、社会科の先生を目指す学生が、小学校や中学校、あるいは高校の社会科の授業で、経済について教えることができるよう指導しています。指導を通じて、「経済学」と「社会科の教師として経済を教えること」には違いがあることを改めて痛感し、その違いの研究にも取り

組むようになりました。

### 社会科における経済教育とは？

義務教育課程での社会科の目的のひとつは「公民的資質」を育てるということにあります。では、公民的資質とは何かというと、社会の中で「人」として生きていく術(すべ)、つまり生物として生まれたヒトが、長い時間をかけて、自由と権利を知り、人に貢献するという道徳観を持つなど、日本という社会の一員として生きていくために必要な資質のことです。

人は一人では生きていくことができず、何らかの集団に属して生きているわけですが、その集団のことを「社会」と言います。そして、その最小単位が「家族」であり、最大の単位が「国家」になります。だから社会科教育というのは、家族から始まり、地域、市町村、都道府県、国へと、学年が上がると共に広がっていきます。そして当然、これらの社会には境界線があり、その線の内

側(うち)と外側(よそ)では違う考え方、生き方が存在するというを教えています。

ところが、世の中が便利になったこと、国内が平和であることで、決まり事によって現在の生活が保たれていることを実感しにくくなっています。そのため、わざわざ教育という機会を通じて社会について理解してもらわなければならないようになってます。

### 経済を教える意義とは？

これを経済に関することで説明すると、まず自分の損得に直接結びついていることが「私」、それ以外が「公」になります。自身の利得のために動くことが、時に他の人の損失をもたらすこともありますので、「公」と「私」は対立するなんてことが言われたりもします。しかし、それは浅はかで視野が狭い考え方と言わざるを得ません。自分の利得のために動くには、そういうことができる条件、「公」がきちんと機能していなければならないからです。「公」と「私」の違いは、直



「経済学講読」の講義風景  
統計データを加工し、理解し、説明するスキルを、実習を通じて学びます。



インタビューに答える宇多先生  
取材当日は、スライドなどの資料を用い、社会や教育について熱く説明していただきました。

接的か、わかりやすいかどうかでしかありません。目に見えない、気づかないところで誰かが担ってくれている役割があるからこそ、自分は平穏無事に働くことができ、生活することができているのです。そういうことを理解してもらい、かつ自分はどのようにして社会と関わっているかということも考えながら、他の人とのつながりを意識してもらおう。その意味では、社会科は道徳教育とも密接な関係にあります。

ところで、人のために役に立つと聞くと、無償奉仕を強制されると錯覚に陥る人もいるかもしれませんが、そうではありません。社会には、助けてもらったら感謝し、報酬を渡すという関係がある。このような人のつながりを「経済」というのです。そこをしっかりと教えていくことが重要です。

### 立ち止まって、見直すことも大事

私自身は、あまり物覚えがよろしくない子どもでしたから、「できないから時間をかけてやる、でもできない」ということの繰り返しで苦労しました。でも、車で通い慣れた道を、休日歩いてみると気づくことがあるように、

ゆっくりと、つまづきながら、歩んできたおかげで、他の人が気づかないことを知る機会も多く、その積み重ねが今の自分につながっているとも思います。

本学に入学してくる学生は基本的にまじめな人が多いのですが、目標に向かって一心に進むだけでなく、ふと立ち止まって、自分がしていること、しなければならないことを見直してみることも、時には良い効果をもたらします。それから、適度に力を抜く方法を知っている、そのうえで適度に真面目であるという、バランス、いわゆる中庸が大事であることも分かってほしいとも思います。

### 説明できる段階まで理解しよう

アインシュタインの言葉に、「6歳に説明できないということは、わかっていないということである」という言葉があります。この言葉を自身と学生に問いかけるように心がけています。教師という仕事は、様々な年齢の子にわかるように説明しなければならないのですから、どのようにすれば人に分かってもらえるかを常に問いかけるという姿勢がとても大切なことだと思っています。

何度、転んでも、  
その時に結果が出なくても、  
そこで培ったことは、きつと何かの役に立つ。  
降ってきた機会(チャンス)を、  
できる限り活かそうという姿勢が、  
人を成長するために重要だと思っております。



授業風景の撮影日には小学生(本学附属小学校)が見学に訪れる一コマも。



うだ けんじろう

2010年4月 経済産業省通商政策局 任期付職員  
2013年4月 山梨大学大学院准教授

#### 【専門分野】

経済統計学(産業連関分析 応用一般均衡)

#### 【研究テーマ】

「失われた二十年」以降の日本経済の構造変化

#### 【主な著書・論文】

論文作成のためのパソコン入門(学文社、2012年)  
我が国経済の構造変化の比較分析(経済統計研究)(2012年)  
貿易構造が我が国の生産誘発効果に与える影響(基本分類の非競争輸入型産業連関表の意義)(経済統計研究)(2011年)

## 工学部コンピュータ理工学科 安藤研究室

安藤英俊 准教授

GPU(Graphics Processing Unit)  
コンピューティングを  
活用した研究

私たちの研究室では主にGPU(Graphics Processing Unit)コンピューティングを活用した研究を行っています。GPUはコンピュータグラフィックスを高速化するための装置で、ゲーム機やスマートフォンなどにも広く搭載された身近で高性能な演算装置です。GPUは一般のCPUと比較して圧倒的に高性能かつ省エネルギーな装置で、省エネルギーなスーパーコンピュータ開発のためにも近年よくGPUが使われています。

2006年に機械工学科の鳥山先生と研究室の学生達と共同で、GPUを活用した高速な流体計算と可視化を行う手法を開発しました。これはIPA(情報処理推進機構)の未踏ソフトウェア創造事業に採用された上に「天才プログラマー/スーパークリエイター」に認定されました。この技術をさらに発展させて、現在は固体と気体と液体が混在する環境での数値シミュレーションの実現に取り組んでいます。これにより津波

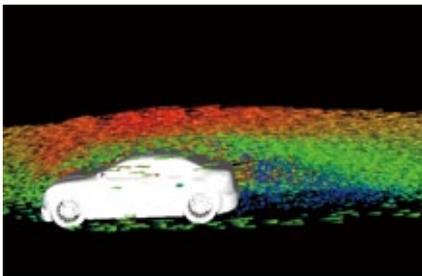


タカノ株式会社との勉強会の様子

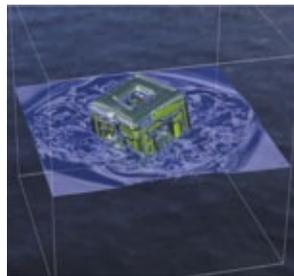
のシミュレーションによる防災計画や、熱の計算まで加えた空調システム的设计など様々な分野に応用できます。

さらに近年はGPUコンピューティング技術を企業との共同研究により発展させ、製品化も行っています。タカノ株式会社とは、工場で生産される製品の画像による外観検査装置の高度化に取り組んでいます。GPUを活用することで高速で高度な画像処理ができるようになり、人の目に見えないような欠陥を製品の画像から見つけるのに役立っています。共同研究

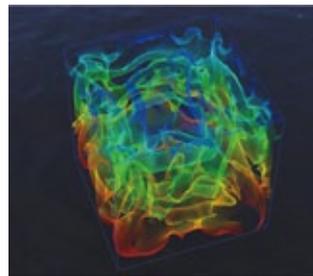
の成果はすでに製品化されて世界中のものづくりの現場で貢献しています。さらに欠陥の種類まで自動判別してしまう装置の開発に成功しました。これにより熟練技術者と同



車体周りの空気の流れのシミュレーションと可視化



固体・気体・液体の相互作用のシミュレーションと可視化



熱による2液体の対流のシミュレーションと温度の可視化



タカノ株式会社と安藤研究室のメンバー

等以上の精度で欠陥を判別できるようになり、すでに共同で特許申請済みです。現在はさらに多種多様な製品に自動的に対応できるように最新の技術であるディープラーニング(深層学習)にも取り組んでいます。

画像を見て何かの判断をする仕組みは様々な分野への応用が可能です。現在は医学部口腔外科と共同で癌の進行具合の自動評価に取り組んでいます。癌は日本人の死因の第1位であり、早期発見はもちろんのことですが、癌が発見された場合には進行具合に応じた適切な治療が何より大切です。そのため癌の画像から進行具合を正しく判断することが重要です。私たちの技術で少しでも社会に貢献できるよう日々取り組んでいます。

# close-up people



生命環境学部地域社会システム学科 4年  
堀田 由佳さん



留学先のオックスフォードブルックス大学

## 自己紹介をお願いします!

生まれも育ちも山梨県の、堀田由佳と申します。生命環境学部地域社会システム学科に所属しており、学科では経済学を専攻しております。趣味は野球観戦や一人旅、絵を描くこと、音楽鑑賞…と多岐に渡っております。1年間留学していたイギリスではジムでトレーニングに励み汗を流していたのですが、最近はなかなか時間が取れず…。勉強に趣味に、やりたいことが多すぎて手が回らないのが悩みです。

## 学部・学科を選んだきっかけは何ですか?

生命環境学部が新設されたことにより、地元山梨の大学で経済学を学ぶことができるようになったからです。「生命環境」という学部名を聞くと、理系科目だけを扱っているように感じられるかもしれませんが、実は社会科学系の「地域社会システム学科」という学科もあるのです。現在はマクロ経済学・開発経済学・環境経済学のゼミに所属しております。

## 勉強のコツを教えてください!

私が勉強のコツを教えるというのは、とてもおこがましいような気がするのですが…。「自分で」勉強するというのが、非常に重要なのではないのでしょうか。高校までの勉強とは異なり、自分が興味のある学問を追求できるのが大学という場です。講義をただ聞くだけでなく、先生に直接お話を聞きに行ったり(オフィスアワーという、学生が自由に研究室を訪問できる時

間帯を設けている先生もいます)、図書館やインターネットで履修内容を更に深く理解したりと、自主的な学びを楽しむことができれば、きっとそれが学問的な成長に繋がると思います。良い成績も期待できますよ。毎年優秀学生として表彰されてきた私が保証します(笑)。

## 就職先について教えてください!

都内のIT企業から内定をいただきました。入社後の配属は分かりませんが、金融分野に特化している点に魅力を感じ入社を希望したので、将来的には金融部門で働きたいと考えています。また、この会社は世界中に支社を持ち、外国企業との取引も盛んなので、海外で活躍する機会も期待できます。日系企業なのですが、内定式に来た新入社員の半数以上が外国籍の方で、とても驚きました(笑)。

## 就職活動はいかがでしたか?

案外早く、すんなりと終わったというのが正直な感想です。私たちの年代は、就活が3月解禁となり、全体的な就活の時期が大きくなり込みました。3年生の9月から海外留学していた私にとって、逆にこれはとても有利に働きまして、10か月後に帰国してからも就活に十分間に合ったのです。また、留学経験者やバイリンガル専門の合同企業説明会などのイベントがあり、そこで様々な企業の方々と出会い、選考を有利に進めていただけたこともラッキーでした。最終的に、応募した企業は10社程度で、選考に進んだのは8社で

した。エントリーする企業が多ければ多いほど良いというわけでは決して無いと思います。

## 大学生活の一番の思い出を教えてください

やはり交換留学です。3年生の後期から4年生の前期まで、イギリスのオックスフォードブルックス大学に留学していました。交換留学とは、山梨大学に在学したまま、海外の大学へ一定期間留学することができる制度です。私は、経済学の本場であるイギリスで学んでみたいという気持ちから、留学を決意しました。世界中から集まった学生たちと、切磋琢磨しながら勉強できるという環境は、非常に新鮮で有意義なものでした。様々な人種や国籍、価値観を持つ人々との交流は良い思い出ですし、今でも連絡を取り合う仲の友人も出来ました。ただ一番印象に残っているのは…「イギリスの料理はそんなに不味くない」ということ!本当ですよ!(笑)

## 後輩のみなさんに一言おねがいします

これまでの学生生活を振り返ってみると、「あれをやっておけばよかった」「これに挑戦していればなあ…」という後悔ばかりです。これほど時間が自由に使えるのは、残念ながら大学時代が最後なのではないでしょうか。皆さんには、時間とお金が許す限り、いろんなことに挑戦し、有意義な学生生活を過ごして欲しいと思います。何はともあれ、これからの大学生活、どうか健康に気を付けて楽しんでください。



ゼミの様子(指導教員:渡邊幹彦教授)



オックスフォードブルックス大学へ留学する前に、友人が開いてくれたパーティー。メンバーは、大学1年次に参加した短期留学で一緒になった学生たち



学内の帰国報告会にて、オックスフォードブルックス大学での交換留学に関して行ったプレゼン



ダブルダッチとは、二本の縄の中で音楽に合わせてダンスやアクロバットを披露するチームスポーツです。

## ダブルダッチサークル「跳縄舞」

DOUBLE DUTCH CLUB [CHO-JO-MAI]

ちよう じよう まい

**こ**んにちは!山梨大学ダブルダッチサークル「跳縄舞」です!

**知**らない人のために説明すると、ダブルダッチとは、二本の縄の中で音楽に合わせてダンスやアクロバットを披露するチームスポーツです。昼休みに学食前や図書館前の中庭などでやっているのを見たことがある人もいないかもしれません。

**私**たちダブルダッチサークルは、現在男子14名、女子9名、計23名の個性が強すぎる仲間たちで構成されています(笑)。みんな学部や学科、サークルに入った動機もこれからの目標もそれぞれですが、全員ダブルダッチが大好きです。ダブルダッチと聞くと敷居が高いような気がして遠慮してしまう人が多いのですが、みんな大学に入って、初めてダブルダッチをやるといふ人がほとんどです。サークルができてから10年が経ちますが、これまで入部時点での経験者は二人だけしかいません。初心者大歓迎です。

**い**つもは毎週月曜日と木曜日の週二回、それぞれ体育館と学食前、そして卓球場で活動しています。基本的には先輩後輩入り乱れて楽しく自由に練

習していますが、地域のお祭りや学園祭などが近づいてくると、各学年でチームを作り、ステージでのパフォーマンスに向けて練習します。各学年混成の有志チームを作ることもあります。

**基**本的な活動としては練習の他に、ダブル



学祭のステージでのパフォーマンス(四年生)



学祭のステージでのパフォーマンス(一年生)

を独占するほどです。私たちはそんなダブルダッチをもっとたくさんの人たちに知ってもらえるように、月に1、2回程度、地域の児童館や保育園、小学校などでワークショップを開催するボランティアをしています。初めて縄に入れた時の子供たちの嬉しそうな笑顔を見ると、自然とこちらも笑顔になってしまいます。

**こ**のように、ダブルダッチサークルでは様々な学部、学科の先輩後輩と日々の活動を通して交流を深めることができ、また、ステージに立ってパフォーマンスをしたり、ボランティアを通じて児童館・小学校の子供たちや地域の方々と交流を深めたりなど、大学時代にしかできない貴重な体験をすることができるとても素晴らしいサークルです。これからも応援よろしくお願いします。

ダッチの普及活動をしています。山梨県内ではあまりダブルダッチが浸透しておらず、認知度もまだまだ低いです。あまり知られていないのですが、日本のダブルダッチは世界的に見てもトップレベルで、世界大会では毎回日本のチームが上位



サークル全員での集合写真



ワークショップでの一コマ



好きになるよアイホのこと Maybe  
君はアイホを好きになる

## 医学部アイスホッケー部

ICE HOCKEY CLUB



いつもマネージャーも頑張ってくれています。

**こ** んにちは、山梨大学医学部アイスホッケー部です。僕たちは、現在プレイヤー20名とマネージャー17名で活動しています。

**ア** イスホッケーというとあまり馴染みがないスポーツだと思われがちですが安心して下さい、大丈夫です。僕たちプレイヤーのほとんどは大学に入るまでホッケーはおろか、スケートすらしたことがありませんでした。しかし、今では山梨県選抜に選ばれるほど上達したプレイヤーも多くいます。

**練** 習の内容についてですが、4～6月はインラ

インスケート、陸上ホッケー、筋トレなどを行い、その他の月は小瀬にあるアイスアリーナで氷上練習を行っています。もちろんオフ期間もあります。練習日は主に月、水、金曜日で、練習試合やリーグ戦などが週末に入ることもあります。アイスホッケーは「氷上の格闘技」と呼ばれていることから野蛮なスポーツというイメージがあるかもしれませんが、僕たちはただ練習するだけでなく練習前や試合前などにはビデオミーティングを全体で行い、「考える」ということにも重きを置いています。

**ま** た、これはどの大学のアイスホッケー部にもあるのですが、「ビジター」といって、他大学の練習に参加することがあります。やる気があればあるほどどんどん上達していき、また他の大学の人もアイスホッケーというスポーツを通して交流を



試合前に気合を入れているところです。

深めることができます。きっと世界が広がることでしょう。

**そ** して、僕たちが参加している大会等ですが、山梨県内リーグ戦(7月～翌3月)、林杯(9月)、東日本医科学生総合体育大会(東医体、12月)、山梨県体育祭(3月)などがあります。中でも12月に行われる東医体の優勝を最大の目標に日々練習に励んでいます。東医体はアイスホッケー部門では16チームが毎年エントリーしており、上からAリーグ6校、Bリーグ5校、Cリーグ5校で競います。昨年度の山梨大

学の戦績はAリーグ5位というものでした。Aリーグ常連校として残留はしたものの納得のいかない戦績に終わってしまいました。だから今年こそは優勝できるよう精進しています。

**ち** なみにアイスホッケー部はレクリエーションの豊富さも売りです。夏には、キャンプや海にでかけ、他にも一年生の行きたいところに行く一年生企画なるものがあります(今年は横浜に遊びに行きました)。部員の仲の良さが一番のstrong pointです。



守備の要、ゴールキーパーです。



躍動感がありすぎて写真を撮ると必ずブレてしまいます。

## キャリアセンターを 活用してください

キャリアセンター長 村松俊夫  
(教育人間科学部 芸術運営コース教授)

このたび「山梨大学キャリアセンター長」を拝命いたしました。

“キャリア”は、一般にその人の能力や技能、また経歴などのイメージで使われることが多い言葉です。しかし、本来は学修や就職、仕事にかかわる結果のみを示す言葉ではなく、働くこと全般に関わる「継続的なプロセス」と、働くことに関わる人々の「生き方」そのものを指している言葉だと思います。“キャリア”を積むということは、仕事で場数を踏むという事だけでなく、その仕事に取り組む姿勢の中で身につけていく知識・技術・経験に加え、自己の個性を理解し主体的に進路選択する能力・態度などを育て「人間性」をも磨いていくこと。そして、プライベートも含めた「自身の生き方」を模索していく事にほかなりません。

キャリアセンターでは「山梨大学に集う仲間が互

いに磨きあって人間力を向上させたり、目的意識を持って自分にあった人生設計が出来る」。そのようなキャリア教育を入学早期から開始し、みなさんの進路(進学・就職)活動を全面的に支援する体制が整っていると同時に、さまざまな情報が蓄積されています。と同時に、進路・就活に関わる各種ガイダンス等を年間通して計画・実施し、さらには親身になって相談にのってくれる経験豊富なサポート・スタッフやキャリア・アドバイザーが常駐しています。ぜひ、活用してください。



## 募集要項の請求方法など(入試課) 受験生の皆様へ

### 平成28年度山梨大学一般入試

募集人員:

学部	日程	前期日程	後期日程
教育人間科学部 ※平成28年4月より 「教育学部」へ名称変更		78人	28人
医学部		35人	95人
工学部		226人	48人
生命環境学部		130人	20人

出願期間: 平成28年1月25日(月)~2月3日(水)
試験日程: (前期日程) 平成28年2月25日(木) (後期日程) 平成28年3月12日(土) 平成28年3月15日(火)(看護学科)
合格発表: (前期日程) 平成28年3月7日(月) (後期日程) 平成28年3月20日(日) 平成28年3月22日(火)(医学部)

募集要項の入手方法:

- ①大学ホームページから請求する場合……(「入試情報」→「募集要項/入手方法」)
- ②テレメールで請求する場合
  1. 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。
    - 自動音声応答電話の場合…… IP電話 050-8601-0101 ※IP電話:一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分間毎に約12円です。
    - パソコン・スマホ・ケータイの場合…… <http://telemail.jp>
  2. 希望する資料番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。



資料名	資料番号	送料	郵送開始日
大学案内	563352	215円	配布中
一般入試学生募集要項	583352	350円	配布中
大学案内+一般入試学生募集要項	543352	350円	配布中

- 3.あとは、ガイダンスに従って登録してください。
- ③モバっちょで請求する場合
  - パソコン・スマホ・ケータイの場合 <http://djc-mb.jp/yamanashi/>



なお、詳細は、下記大学ホームページ(入試情報)をご覧ください。  
(URL: [http://www.yamanashi.ac.jp/modules/admission\\_top/](http://www.yamanashi.ac.jp/modules/admission_top/))

<入試に関するお問い合わせ先>

山梨大学教学支援部入試課  
TEL : 055-220-8046  
E-mail :  
[nyushi@yamanashi.ac.jp](mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp)

### 表紙について

◎今号の表紙写真……”大村 智 先生”



2015年10月26日(月)、山梨大学甲府キャンパスにおいて、特別栄誉博士称号授与式を挙行し、大村先生に特別栄誉博士の称号を授与しました。

授与式では、大村先生の研究に対するひたむきな姿勢とあわせて、人情味溢れるユーモラスな一面も垣間見ることができました。

(今号P2~P3「大村 智 山梨大学特別栄誉博士」の記事をご参照ください。)

### 編集後記

『山梨大学広報Vine27号』をお届けします。

今号の特集は「大村 智 山梨大学特別栄誉博士」および「医学部附属病院 新病棟完成」です。どちらも山梨大学のこれからにかかわるビックニュースとなりました。

大村先生の特集では、先生の研究や取り組みのご紹介とともに、大学生へのメッセージを掲載しています。4つの力強く優しいメッセージは必見です。

新病棟の特集では、最新の手術室や救急・災害時医療への対応強化など、大学病院の役割・使命を意識した病院再整備事業についてまとめました。

平成27年も残すところわずかとなりました。寒い日が続きます。どうぞお体にお気をつけてお過ごしください

(広報グループ)

### 山梨大学広報 ヴァイン

2015  
vol.27  
December

発行者:山梨大学総務部総務課

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務課

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8799

E-Mail:[koho@yamanashi.ac.jp](mailto:koho@yamanashi.ac.jp)

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>

